施工説明書

RW シリーズ

CW-RWA3型, CW-RWA2型

この度は当社商品をお買い求めいただき、 誠にありがとうございました。

注意

- ●この施工説明書をよく読み、正 しく本商品を施工してください。
- ●施工後は必ず試運転を行ってく ださい。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・ 所有者登録のお願いをお渡しください。 保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、 氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお 渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品 本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱し

お渡しするときは、使用方法をご説明いただ くとともに、所有者登録を行っていただきま すようご説明ください。

- ※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体 の表示が必要となります。表示位置をお客 さまに必ずお伝えください。
- ※ 定期的に点検が必要な部品があることをお 客さまに必ずお伝えください。

施工手順

- ① 分岐金具の取付け

メーカー管理用です。

- ② 本体着脱プレートの取付け
- ③ シャワートイレ本体の取付け
- 4 当たり止めの貼付け
- 5 電源の接続
- ⑥ リモコンの位置決め・取付け

7 試運転

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますの でご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの取扱店にご相談ください。 なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください!

■快適機能の設定はお客さまにお任せください。 シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定 する必要があります。したがって、できる限り、お客 さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業 者様で設定する場合は、お客さまに設定した機能とそ の機能説明をお願いいたします。

特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座 が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは

シャワートイレを快適に使用していただくためのお客 さまのための機能です。代表的な快適機能には、

●便座・温水の温度 ●脱臭機能 ●便座ヒーターオート OFF

などがあります。

- ※ 試運転確認後、必ずお買い上げ時の設定に戻して ください。(洗浄位置【前】と【節電入/切】を同 じタイミングで2秒以上押す)
- ※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

-1-

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を 行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

■ コンセントは AC100V、定格消費電力(1300W) に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を 使用してください。

すでにアースターミナルのない接地極付コンセント や接地極付ではないコンセントが施設されている場 合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変 更してください。また、ヒーター付便器や他の電化 製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設 置してください。

定格消費電力に適した配線を行ってください

● 必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工 事を行ってください。 アースターミナルには、確実にシャワートイレの

アース線を接続してください。 ● コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く 水のかからない位置に設置してください。電源コー

ドおよびアース線の長さは 1000mm です。 ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差 し込まないでください。故障する恐れがあります。

便器の確認

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタ ログなどにてご確認ください。

2. 給水ホース(同梱)の使用可能な条件

同梱の給水ホースは 950mm ですが、分岐金具から本体 の給水ソケットまでの距離は 800mm 以内が適切です。 ※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の給水ホー ス CWA-27D(1350mm)または CWA-28D (2000mm) を手配してください。

3. タンク給水ホース (別売品) の使用可能な条件 止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない

● 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm ~ 300mm の場合: タンク給水ホースが使用できます。

8ページ [補足2]をご覧ください。 ● 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm~300mm以外の場合: タンク給水ホースが使用できません。

※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販 の蛇腹管をご使用ください。 7ページ[補足1]をご覧ください。

使用する水は?

● 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続し てください。

中水道や工業用水などを使用すると電気部品や機械 部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。 ● 給水圧力は 0.05MPa {0.5kgf/cm²} ~ 0.75MPa

{7.5kgf/cm²} 必要です。 0.05MPa 以下の場合は、お求めの取扱店にご相談 ください。

● 給水は便器の止水栓から取ってください。 フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を 別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続して

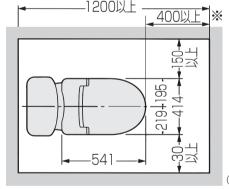
いる場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

必要なスペースは?

必要なトイレスペースは下図のとおりです。 トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物が ないことを確認してください。

製品向かって右側を脱臭フィルターの着脱が出来るよ うに 150mm 以上の空間を確保してください。 左側は30mm未満ですとスライド着脱ができなくな

りますので、30mm以上の空間を確保してください。 空間が確保できないと、動作の妨げになる場合があり

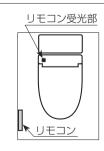


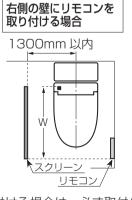
(※ CW-RWA3 型のみ)

リモコンの取付位置は?

リモコンはできる限り、左側の壁に取り付けてくださ

左側の壁にリモコンを 取り付ける場合





必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位 置で受信することを確認してから行ってください。 また、左側の壁が洗面台などで便器から距離がある場 合は、受信しない場合があります。このようなときは 便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリー ンを設置してください。

スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受 光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。 (ただし、壁の仕上げ・色(特に黒っぽい色)などにより受 信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。)

準備工具

- モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの) またはスパナ類(23~26mm)
- プラスドライバー
- マイナスドライバー

-3-

● パイプカッター(サプライ管を切断する場合)

安全のために守ってください!

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を 回避するための注意事項をあげさせていただきます。 施工前に、この項目をよくお読みいただき、事 故のないように正しく取り付けてください。

警告 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死 亡または重傷を負う危険な状態が生 じることが想定されます。

用語の説明

電源コードにキズを付けたり、破損した

り、加工したり、無理に曲げたり、引っ

張ったり、ねじったり、束ねたり、重い

ものを載せたり、挟み込んだりしない。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れが

ガタついているコンセントやアースター

ミナル付接地極付以外のコンセントは使

アース線はコンセントのアースターミナ

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感

※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。

バスルームなどの湿気の多い場所には設

水道水および飲用可能な井戸水以外に

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮

※ 感電・火災の原因になります。

電・火災の原因になります。

※ 感電・火災の原因になります。

膚の炎症の原因になります。

ルへ確実に接続する。

注意 … 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を 負うかまたは物的損害のみが発生する危 険な状態が生じることが想定されます。

用しない。

置しない。

接続しない。

禁止

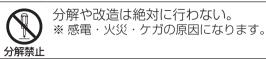
アース接続

水場使用禁止

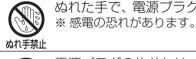
禁止



施工説明書に従い、正しく施工する。 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。 ※漏水し、室内浸水の原因になります。

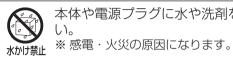


ぬれた手で、電源プラグを抜差ししない。



電源プラグの抜差しはプラグ本体を持っ

て行う。 ※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコー 指示実行 ドが破損し、感電や火災の恐れがあります。



本体や電源プラグに水や洗剤を掛けな しし



- AC100V 以外では使用しない。 ● タコ足配線はしない。
- ※ 感電・火災の原因になります。 禁止

サビなどを洗い流す。

因になります。

水栓を閉める。

を確認する。

指示実行 ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原

指示実行 ●ストレーナーを取り付ける際は、す



電源プラグは根元まで十分差し込む。 ※ 感電・火災の恐れがあります。

製品を接続する前に、必ず配管中の異物

●ストレーナーを外すときは、必ず止

き間がないようにしっかり締める。

●ストレーナーを取り付ける際は、ゴ

※ O リングにゴミが付着していると、漏水

し室内浸水の原因になります。

ミが O リングに付着していないこと

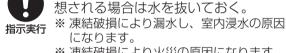


止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず 行う。

※漏水し、室内浸水の原因になります。



お客さまにお渡しするまでに凍結が予 想される場合は水を抜いておく。



になります。 ※ 凍結破損により火災の原因になります。



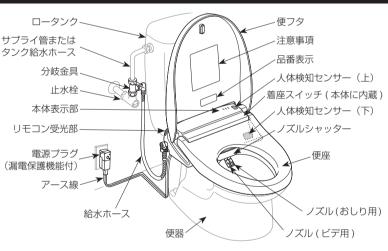
は、必ず配管内の空気を抜く。 ※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具 を使用すると、器具・配管の破損や故障

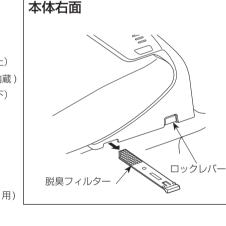
新築・改修工事後や、水道断水の復旧後

の原因となり、けがをしたり水漏れによっ て建物、家財などを濡らす財産損害発生 の恐れがあります。

-2-

各部のなまえ





4

同梱部品の確認

内の数字は施工手順の番号を示しています。







クリップ



取付セット※4

パッキン黒×1

(黒:厚さ4mm) ※ 1





→ スパナ部で締め付け

← スパナ部で締め付け



※ 脱臭カートリッジは、

シャワートイレ本体



給水ホース

※ ホルダーは本体裏 面に付いた状態ですが、スライドさ せると外せます。



マイナスドライバー部

専用工具

スパナ部



※ 2: TOTO 便器、または INAX ストレーナー付便器に使用します。詳しくは同梱の説明書をご覧ください。 ※ 3: 専用工具は、シャワートイレの取付けだけに使用してください。シャワートイレ以外に使用すると、対象物を破損させる恐れがあります。 ※ 4: 機種によっては入っていない部材があります。

別売品

取替用分岐金具 (PK-CWA-89) ※ 止水栓とロータンクの ナット (給水部) の距離

が 15cm 以下または、

ペースが必要です。

30cm以上の場合におすすめします。

: 既存のサプライ管を切断した場合に使用します。

※ ドライバー式、ハンドル式の止水 栓に対応します。(内ネジ式の止 水栓には取り付けできません。) ※ 止水栓の右側に 10cm 以上のス

タンク給水ホース (全長 350mm) (CWA-24D) Of the formal the same of the

- 止水栓付分岐栓 (CF-006) ※ 止水栓付を使用する 場合は別途こちらを
 - 手配してください。 ※ シャワートイレ側の 給水を止水できます。

パッキン (青: 外径 18mm、内径 12mm、厚さ 2mm)50-15(1P)

0



※ パッキン(青)とタンク給水ホー スはセットではありません。そ れぞれを別途手配してください。

-4-







ソケット付 です。

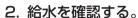
分岐金具の取付け (注意 1-1 参照)

※ 右図のような他社製分岐金具がすでに取り付けられている場合は、別売の PK-CWA-89 (取替用分岐金具) を手配してください。



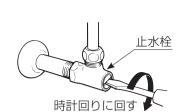
1. 止水栓を閉める。

便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっぱいに閉め、給水を止めます。 ※ 止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか) を覚えておいてください。

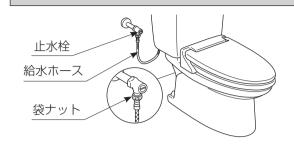


止水栓と便器(ロータンク)の接続方式を確認してください。給水 方式によって分岐金具の取付方法が異なります。

※ サプライ管を取り付ける場合は【補足 1】をご覧ください。



■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合(袋ナット固定)



取付図 止水栓 パッキン (黒:厚さ2mm) 分岐金具 パッキン (青:厚さ2mm) 給水ホース

3. 給水ホースを取り外す。

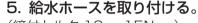
※このとき、少量の水がこぼれますので、 ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。

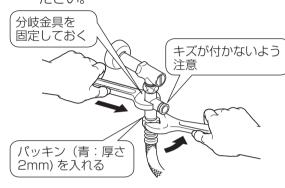
(締付トルク 10~ 15N·m)





(締付トルク 10~ 15N·m)

※ 給水ホースがねじれないように注意してく ださい。

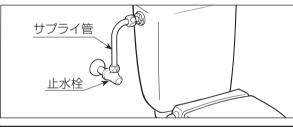


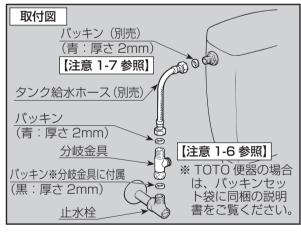
【注意 1-1】

● 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具また は別売の CF-006(止水栓付)を使用する。 ※漏水の原因になります。

-5-

■止水栓とロータンクが サプライ管で接続されている場合





3. サプライ管を外す。 【注意 1-4 参照】

タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプ ライ管を外します。

※このとき、少量の水がこぼれますので、 ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付ける。

パッキン (黒:厚さ 2mm) を入れて分岐金 具を止水栓に取り付けます。 (締付トルク 10~ 15N·m)



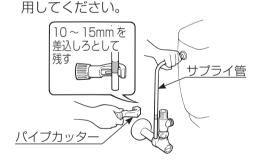
サプライ管を切断して取り付ける場合は、 【補足 1】をご覧ください。

新たにタンク給水ホースを取り付ける場合 は、【補足2】をご覧ください。

サプライ管の取付け 【注意 1-4 参照】

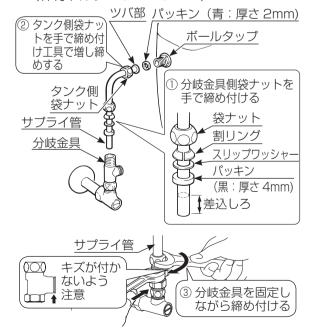
1. サプライ管(分岐金具側)を切断する。

【注意 1-5 参照】 ※ サプライ管の切断にはパイプカッターを使



2. サプライ管を取り付ける。 【注意 1-6 参照】 【注意 1-7 参照】 【注意 1-8 参照】

(締付トルク 10~ 15N·m)



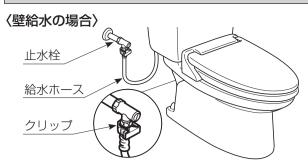
【注意 1-2】

● O リングにキズを付けないように注意する。 ※O リングが切れたりキズが付いたりすると漏 水します。

■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合(クリップ固定)

〈床給水の場合〉

給水ホース



※このとき、少量の水がこぼれますので、

ぞうきんなどを下に置いてください。

、止水栓

\ 分岐金具

① クリップを外す

② 給水ソケットと

② 給水ソケットと

● クリップを外す際は、下方向に押すようにして

ストレーナーを外す

[∫] ② 下方向に押す

^りマイナスドライバー

クリップカバー

クリップ♬

ストレーナーを外す

① クリップを外す

取付図

パッキン

クリップ

〈壁給水の場合〉

緩める

〈床給水の場合〉

緩める

● クリップとクリップカ

バーが別体の場合、ク

リップカバーを外して

からクリップを外す。

【参考 1-1】

① クリップを 指で押さえる

外す。

開く

(黒:厚さ2mm)

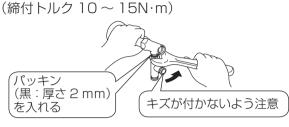
給水ホース

【参考 1-1 参照】

ストレーナー



、給水ソケット 分岐金具 4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。 3. 給水ホースと給水ソケットを取り外す。

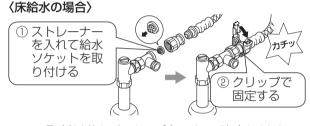


クリップ

5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。 【注意 1-2 参照】【注意 1-3 参照】

(締付トルク 10~ 15N·m)



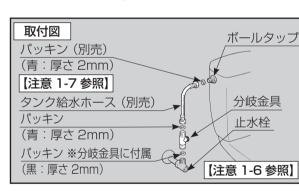


※取付け後にクリップを回し、確実にはまっ ていることを確認してください。また、給 水ホースを軽く引き、確実に接続されてい ることを確認してください。

補足 2

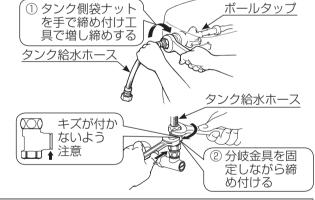
タンク給水ホースの取付け

※【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。(☞ P.3 「便器の確認」3.)



1. タンク給水ホースを取り付ける。 【注意 1-7参照】【注意 1-8参照】【注意 1-9参照】 ※ 給水ホースがねじれないように注意してく

ださい。 (締付トルク 10~ 15N·m)

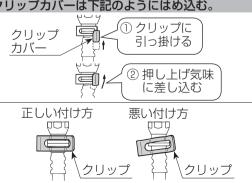


【注意 1-3】

● クリップは確実にはめ込む。



● クリップとクリップカバーが別体の場合、 クリップカバーは下記のようにはめ込む。



【注意 1-4】

● 止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。 ※破損して漏水する恐れがあります。

【注意 1-5】

● サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。 ● サプライ管の切断は必ずパイプカッターを 使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に 切り粉を取り除いてから接続する。

● 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は 動かないように止水栓を固定する。 固定できない場合はタンク給水ホース (品番: CWA-24D) を使用する。 ※漏水の原因になります。

【注意 1-6】

- 各部品の向きと順序を間違えないようにする。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない 場合は、タンク給水ホース(品番:CWA-24D) を使用する。
- サプライ管の接続は確実に行う。 ※漏水の原因になります。

【注意 1-7】

● 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配の ストレーナー付パッキン (品番: 26-10-2) に このとき同梱のパッキン(青:厚さ2mm)は 取り付けない。

【注意 1-8】

● ボールタップが回 転しないように固 定しながら袋ナッ トを締め付ける。 ※ ボールタップが回 転すると浮玉がタ ンク側壁と干渉し て止水不良の原因



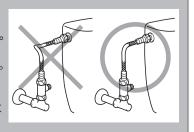
【注意 1-9】

● タンク給水ホース は鋭角に曲げない。 ※破損して漏水の

になります。

原因になります。 ● パッキンは必ず 付属品を使う。 ※漏水の原因にな

ります。

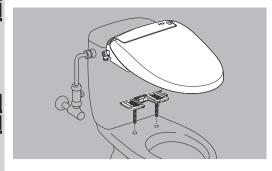


-7-

本体着脱プレートの取付け

必ず同梱の着脱プレートを取り付けて ください。

既存の便座を取り外す場合は、【補足3】 をご覧ください。



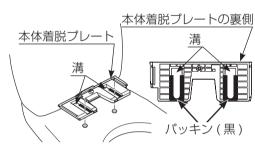
1. 便器の取付穴位置を確認する。

本説明書端の「便器先端位置」と便器 の先端を合わせ、便器取付穴の位置が 「A 位置」または「B 位置」か確認します。 ※メジャーは便器の中心に置いて測っ てください。

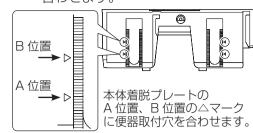


2. 本体着脱プレートを仮固定する。 【注意 2-1 参照】【注意 2-2 参照】

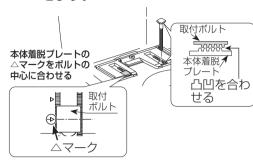
①本体着脱プレートのパッキン(黒) が付いている側を便器側に向けて、 本体着脱プレートの左右の溝から便 器取付穴の左右の穴が見えるように 置きます。



②「1. 便器の取付穴位置を確認する」 で確認した便器取付穴位置が「A 位 置」の場合は本体着脱プレートの A 位置、「B 位置」の場合は本体着脱 プレートの B 位置に便器取付穴を 合わせます。



③本体取付ボルト2本を穴に差し込 んで本体着脱プレートの凹凸を合わ せます。



- ④本体取付ボルトに半球パッキンとス リップワッシャーを通して六角ナッ トを手で取り付け、着脱プレートが ガタつかないように仮固定します。
 - ※本体取付ボルトの中心位置がズ レないように手で押さえるなど、 固定しながら締め付けてくださ い。
- ※ナット類や本体取付ボルトは樹 脂製です。締め付け過ぎて破損 しないように注意してください。
- ※ 半球パッキンは、球面部が陶器 側ですので組付方向に注意して



-9-

3. シャワートイレ本体を取り付け、設置の 状態を確認する。 【注意 2-3 参照】

- ①本体を本体着脱プレートの手前に置きま
- ②本体着脱プレートの中心と本体の中心(凸 部)を合わせます。



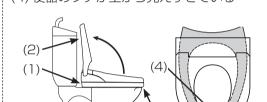
- ③本体を本体着脱プレートが見えなくなるま で、奥にゆっくりスライドさせます。
- ※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押 し込んでください。
- ※本体着脱の構造上、ガタつきは完全には なくなりません。
- ※本体がロータンクに当たり取り付けられ ない場合は、本体着脱プレートの位置を 調整してください。



④以下の条件にあてはまる場合は、シャワー トイレ本体を外して本体着脱プレートの位 置を調整してください。

また、本体着脱プレートを調整する際は、 A位置、B位置を目安に、下の条件が解消 されるように調整してください。

- (1) シャワートイレ本体の背面がタンクに当 たっている
- (2) 便フタを開けると、便フタがタンクに当 たり閉じてくる
- (3) シャワートイレ本体の先端が、便器の先 端より出すぎている(便器先端から便座 が出る位置の理想の目安は5~20mm) (4) 便器のフチが上から見えすぎている



(5) ノズルの出口が、便器のフチに乗り上げ ていたり、干渉したりしている。



- ※本体の外し方は P.11 「シャワートイレ本 体の外し方」を参照してください。
- 4. シャワートイレ本体を外してから、取付 ボルトをしっかりと締めて、本体着脱プ レートを固定する。

【注意 2-1 参照】【注意 2-2 参照】

手で六角ナットを回して、本体着脱プレート がガタつかないよう確実に固定します。 手で締めた後、便座着脱工具で2回程度回し てください。

(参考: 締付トルク 2.0~2.5N-m)

【注意 2-1】

● ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に 少しずつ行う。 ※締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする 原因になります。

【注意 2-2】

- ナット類や取付ボルトは樹脂製なので、必ず手 で締め付ける。
- 半球パッキンは、球面部が陶器側になるよう、 組付方向に注意する。

【注意 2-3】

● 本体右側にあるロッ クレバーが元の位置 に戻っていることを 確認します。



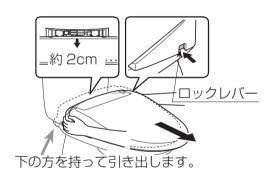
● ロックレバーが奥に入った状態では、本体と本 体着脱プレートが固定されておらず、本体が便 器から外れる可能性があります。

● 本体を奥に突き当たるまで押し込み、しっかり 固定させてください。

-10-

■ シャワートイレ本体の外し方

- ① 本体向かって右側にあるロックレ バーを押しながら、**約 2cm** スライ ドさせます。
- ② **ロックレバーから指を離して**、さら にスライドさせます。



補足3 既存の便座の取外し

※ 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。 ※取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

■ボルト式の場合

- 1. 便器裏側の便座取付ボルトのナッ ト、スリップワッシャー、半球パッ キンを外す。
- 2. 便座を持ち上げて便座取付ボルト ごと取り外す。



■さや式の場合

- 1. 既存の便座を持ち上げて外す。
- 2. さやの中のボルトを緩めて、ボル トを下に押し込む。
- 3. さや2本を便器から抜き取る。



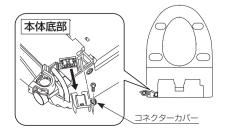
3 シャワートイレ本体の取付け

【注意 3-1 参照】 【注意 3-2 参照】

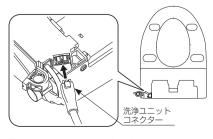
■フルオート便器洗浄 (HQ) タイプの場合

図のようにシャワートイレ本体底部 のコネクターに洗浄ユニットコネク ターを接続します。

① ねじを外しコネクターカバーを外し ます。



② カバー内のコネクターに洗浄ユ ニットコネクターを接続します。



③ コネクターカバーをねじで取り付け ます。



1. 給水ホースを本体側に取り付ける。

 保護キャップを外します。 ②給水ホースを差し込みま

【注意 3-3 参照】

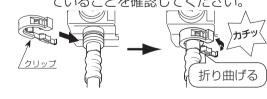
0 UVJ ※ 給水ソケットが回転し ますが、これは構造上 によるもので故障ではありません。

③ クリップで固定します。

【注意 1-2 参照】 【注意 1-3 参照】 【注意 3-4 参照】【参考 1-1 参照】

※ クリップに方向性はありません。 ※取付後にクリップを回し、確実にはまっ

ていることを確認してください。また、 給水ホースを軽く引き、確実に接続され ていることを確認してください。



2. シャワートイレ本体を取り付ける。

2 -3. ①~③ (P.10 「シャワートイレ本体 を取り付け、設置の状態を確認する」) の手 順でシャワートイレ本体を取り付けてくださ い。

3. 給水ホースを分岐金具側に取り付ける。

①保護キャップを外し

②給水ホースを差し込 みます。



【注意 3-3 参照】 ③ クリップで固定します。

【注意 1-2 参照】 【注意 1-3 参照】 【注意 3-4 参照】【参考 1-1 参照】

※ クリップに方向性はありません。 ※取付後にクリップを回し、確実にはまっ ていることを確認してください。また、 給水ホースを軽く引き、確実に接続され



【注意 3-1】

● 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 3-2】

● 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させ ないように注意する。

【注意 3-3】

● 給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金 具の向きを調節する。 ※破損して漏水する恐れがあります。

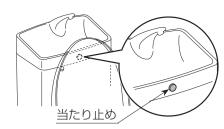
【注意 3-4】

● クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実 にはめ込む。 ※漏水の原因になります。

当たり止めの貼付け

1. 便フタを開き、便フタがロータンクに当たるところに 当たり止めを貼る。

※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。



電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。 【注意 5-1 参照】

① アース線を接続します。

②電源プラグを差し込みます。



2. 電源が入っていることを確認する。 本体表示部の電源ランプが点灯している ことを確認してください。



⚠ 警告



確実にアース線をアースターミナルに接続 する。

ァース接続 ※接続しなかったり、不適切な接続状態では、 感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合 は、電気工事店にご相談ください。

【注意 5-1】

● 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセッ トボタンを押して、電源ランプが点灯することを確

※電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあ けてください。

● リセットボタンを押しても電源ランプ(緑)が点灯 しない (電源プラグの表示ランプが点灯する)場合は、 200V が通電していないかを確認する。

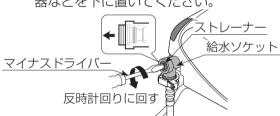
リモコンの位置決め・取付け

壁リモコンに同梱されている施工説明書に従って、リモコンを取り付けます。

-13-

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

- 1.「止水栓」を閉めて、給水を止める。 ※止水栓は調節されているので、元の位置 (どのくらい回したか)を覚えておいてく ださい。
- 2.【ノズルそうじ】を押す。
- 3. 本体向かって左下の給水ソケットを手で 支えながら、中央にある「ストレーナー」 を工具で回して外す。 【注意 8-1 参照】
 - ※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面 器などを下に置いてください。



※ストレーナーを外す際、給水ソケットも回 転しますが、これは構造上によるもので、 故障ではありません。

[注意]

ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを 付けないように注意してください。

4. 「ストレーナー」や「O リング」に付いて いるゴミを水洗いして完全に取り除く。

【注意 8-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。 ● ストレーナーを取り付ける際は、段差がないよう にしっかり締める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。 ※ D リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

6.「止水栓」を元の位置まで開く。 7. ストレーナー部から水漏れしていないか 確認する。

ストレーナーを外して水洗いした場合は、

[取付時の注意]

● ストレーナーの汚れがひどい場合は

5. 給水ソケットを手で支えながら、「スト

まで締め付けます。

レーナー」を工具で確実に締め付ける。

※ストレーナーの取付部分に段差がなくなる

時計回りに回す

しっかりはまっていることを確認してください。

- ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いし てください。
 - ※ O リングにキズを付けないように注意してく ださい。Oリングが切れたり、キズが付いた りすると漏水します。
 - ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注 意してください。 ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となり
 - ロリング

ねじ側

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

- 1.「止水栓」を閉めて、給水を止める。
 - ※止水栓は調節されているので、元の位置(ど のくらい回したか)を覚えておいてくださ
- 2. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作し、ロー タンク内の水を抜く。
- 3. シャワートイレ本体から水を抜く。
 - ①「ストレーナー」の下に布などを置く。 ② 給水ソケットを手で支えながら、ストレー ナーを工具で回して外して、ストレーナー 部や O リング部に付いているゴミを水洗 いして完全に取り除く。

ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを 付けないように注意してください。

- ③【ノズルそうじ】と【マッサージ】を同じ タイミングで2秒以上押す。
- ※約 15 秒間本体内の残水を抜きます。 ④電源プラグをコンセントから抜く。
- ⑤水抜き完了後、給水ソケットを手で支えな がら、ストレーナーを工具でしっかりと締 め付ける。
 - 【注意 8-1 参照】

4. 止水栓部から水漏れしていないか確認する。

試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

- ●水漏れ箇所はありませんか?
- 1. 止水栓を元の位置まで開く。

	漏水確認	チェック欄	確認内容		
			漏水していませんか? ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認 が困難な場合があります。)		
			① 止水栓部および給水ホースとの接続部		
			② 本体と給水ホースとの接続部		

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか? 【注意 7-1 参照】 【注意 7-2 参照】 【注意 7-3 参照】

- 1. 電源が入っていることを確認する。
- 2. (

便座を押し下げ、着座スイッチを入れる。									
確認機能	チェック欄	確認内容							
おしり		1. ノズルから適温の温水が出ますか? ①【おしり】を押します。	おしり						
ノズル		② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。							
		2.【止】を押すと温水が止まりますか?	•						
ビデ		1. ノズルから適温の温水が出ますか? ①【ビデ】を押します。	ビデ						
ノズル		② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	قبر ا						
		2.【止】を押すと温水が止まりますか?							

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故 障ではありません。

3 約 15 分たった後、便座が温まるかを確認する。

ינל טיי ניוי	こうた談へ	文法が進めるが		
確認機能	チェック欄		確認内容	
暖房便座		1. 便座に手で触れ、	暖かくなっていますか?	更座

【注意 7-1】

● インバータ照明下でリモコンを使用した 場合、トイレの環境条件によりシャワー トイレが作動しないことがあるので、照 明を消して動作を確認する。

【注意 7-2】

● 着座スイッチがあるため、おしり洗浄、 ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

【注意 7-3】

● タンクへの給水が止まらなくなった り、給水しなくなった場合は、浮玉が タンク内側の壁に当たっていないこと を確認する。

浮玉がタンク内側の壁に当たってい る場合は、以下の要領で直す。

1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。 2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。

着座スイッチ

(本体に内蔵)

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。 保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。 なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。 お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。 ※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。 表示位置をお客さまに必ずお伝えください。 ※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

-14-